

くらしのメニュー おたより 99号

令和2年1月1日

私のひとりごと

石丸博巳

新年明けましておめでとうございます。

ご家族おそろいで、令和2年の新しい年をお迎えのこととお喜び申し上げます。また、本年もご家族皆様が幸多き年であることをお祈り申し上げます。

昨年中は、私共石丸ハウスセンターに対し暖かいご厚情を賜りましたこと、心より御礼申し上げます。本年も相変わらずのご支援をよろしくお願い申し上げます。



昨年年号が令和と改元され希望ある時代の到来を願ったのですが、やはり台風などの大きな自然災害が発生し、また国会では「付度」政治と言われる嫌な流れが出来てしまったようです。

そのような中で、今年は約50年ぶりの東京オリンピックが開催されます。前回のオリンピックは私が小学5年生の時、学校の図書館でみんなで白黒のテレビに見入った思い出があります。重量挙げの三宅選手や女子バレーボールも楽しかった記憶が巡ってきます。

2年前にチャンスがあって新国立競技場の建築現場を見学することが出来たのですが、数えきれないほどのクレーンが林立しているのには本当に驚きました。外観が出来ていてこれから屋根を取付けていくところでした。日本中から集められた材木を使ったというのですから見事な建物になったでしょう。そして、日本の技術はすごいもので工期内にちゃんと完成させました。残念なことに見には行けませんが、テレビで楽しみたいと思います。

今月の写真紹介

古民家リフォーム
三国町梶 出前 肇邸



古い大黒柱や太い梁（横になっている柱）を残してダイニングのデザインとしました

施主様の言葉

築90年程の古い家と言う事もあり、当初は新築を想定していました。しかし、3世代が住むにはどうしても広い家が必要だったこと、そして一つだったキッチンやお風呂を若夫婦用に新たに増設する必要があった事、そして費用も考慮した結果リフォームを選択しました。

幸いに柱や梁などは問題がなく、基礎石をコンクリートで補強することだけで耐震的に安全なものとなることが出来ました。そういった事を判断



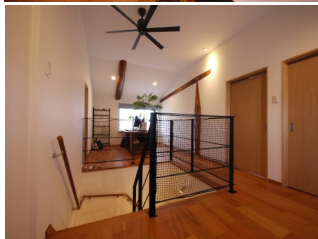
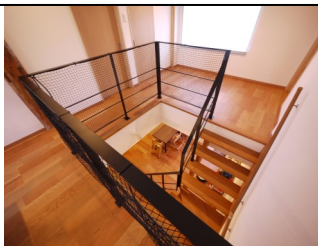
する石丸さんはリフォーム経験が圧倒的に豊富なので安心できました。住む上で最も重要な「次世代まで安心できる家」ができて非常に満足です。

大黒柱を利用した、
ダイニングテーブルです

一方で、若夫婦にとってリフォームは新築に比べて居住空間デザインの制約が多く苦心したようですが、そこは石丸さんが彼らの提案をうまく取り入れ、結果的に完成度の高い家に出来上がったと喜んでいきます。特に柱や梁を生かしたデザイン設計は素晴らしく、スタッフの方々の丁寧な作業もあって完成したもので感謝しております。これからの保守メンテナンスや更なる増改築の際にはまたよろしくお願いいたします。 出前肇様



正面の外観は昔の面影を残しました
出前邸の完成写真



右の2枚は新たに取付けた吹抜け階段とスチール手摺にネット張です

いつまでも安心して暮らせますように

株式会社 石丸ハウスセンター TEL 82-5533
一級建築士事務所 FAX 82-5537

〒913-0044 福井県坂井市三国町山王4丁目5-31 ホームページ <http://ishimaru-housecenter.co.jp>

今年は子年(ねずみ年)

子(ねずみ)は、すぐに子ネズミが増え成長することから「子孫繁栄に縁起の良い干支」と言われます。また、「寝ず身」＝「働き者」ともとらえられて材を蓄える象徴でもあるようです。「行動力と財」が子年の特徴だそうです。人口が減っています、増えますように！